半世紀にわたる「問題」 いま問い直す。 を、

登校 50

方、

た。いったい「不登校50年」の歴史は何を語るのでしょう。不登校

親の会やフリースクールなどの市民運動が立ち現れてもきまし

をめぐって、時代ごとにどんな状況があり、

この5年は学校に行かない子どもたちにとって受難の歴史だった一

働き方などが、さまざまに問われてきた「問題」だったと言えます。

きました。それは、学校、教育行政、精神科医療、

家族のあり方

開始以降とも言えます。この50年、不登校は「問題」であり続けて

#02 坂本悦雄さん

開始し、不登校経験者、親、親の会、 どう対応されてきたのでしょうか。 購読者に限定したものではなく、無料で公開します。そのため、プ カイブにしていきます。インタビュー・寄稿は、 教員、学者、弁護士など、さまざまな関係者の生の声を集め、 ジェクトは、 不登校新聞社では、「不登校50年」を機に、 寄付によって運営します。 居場所・フリー ぜひ、 証言プロジェクト このプロジェクト 社会的意義を考え スクール、

のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

2016年7月15日

全国不登校新聞社

ながる「問題」として不登校が社会現象化してきたのは、この統計 する子どもは、学校制度とともに常にいました。 1 9 6 6 学 校 基 本 今年はそれから50年にあたります。 調 査 で 学校 嫌 <u>ا</u> 0) 統 計 が しかし、 開 学校を長期欠席 始 言され 現在につ た 0)

は

プロジェクトチーム (統括:山下耕平)

関東チーム委員:奥地圭子、木村砂織、朝倉景樹、石林正男、加藤敦也、佐藤信一、 須永祐慈、関川ゆう子、野村芳美、藤田岳幸、前北海、増田良枝、松島裕之、山口幸子 関西チーム委員:山下耕平、石川良子、貴戸理恵、栗田隆子、田中佑弥、山田潤

どのように問題とされ

#02 坂本悦雄さん

坂本悦雄さん #02



(さかもと・えつお) 1929年、青森県生まれ。1935年、入学した村の小 学校で不登校状態となり、祖母と同伴登校の日々を送る。1953年、弘前大学 卒業、郷里の中学校に赴任。この当時に不登校の生徒に出会い、以来、不登校 に関わっている。89年ごろからは自宅で、不登校、非行の子どもたちの居場 所「心の窓」を開いてきた。学習援助も週2回ほどやってきたが、親の相談 に力を入れてこられ、子どもたちが安心して家に居られるようにと「親の会」 も開いている。63年より、県立八戸北高校、青森県立六ヶ所高校教頭を経て、 83年より青森県教育庁に勤務。その後、八戸西高校、八戸中央高校校長を経て、 89年より八戸市総合教育センター勤務(5年間)。94年より八戸大学勤務(准 教授/5年間)。八戸あおば高等学院顧問。

インタビュー目時:2016年7月2日

聞き手: 奥地圭子 所:栃木県小山市 写真撮影:稲葉祐一朗

*坂本さんは青森県八戸市在住だが、インタビュー当時、休養・保養のために御夫妻で小山市の娘さ

ん宅に滞在されていた。

奥地 ですが、ご自身、 まずは坂本先生の生い立ちからうかがいたい 不登校経験がおありだそうですね?

h

坂 本 ない、 私自身がひとりでは小学校に行けなかったんですよ ね。祖母が私のことを毎日連れて行って、 バスも通っていなくて、 魚もない。 もう本当に何もない青森県の山奥で生まれまし それで小学校に入学するんですが、 食べ物が何もない。肉も それで廊下

坂 本

んですか?

で針仕事をしてましたよ。

奥地 何年ごろのお話ですか?

校に行けないものだから、役場に下の学年じゃダメか あと2時間遅ければ次の学年になるのにね みんなには「おばあちゃんと行けていいな、 ないで黙って届ければよかったんでしょうけど(笑)。 とお願いしたんですが、ダメでした。お願いなんてし 戦前ですね。 なんて言われましたよ。 本 昭 和 10年(1935年)ごろだっ 私は4月1日の午後10時生まれなので、 (笑)。 たかなっ いな」 学

> 奥地 校に対してどう思っておられましたか? 今で言うところの同伴登校ですよね。 こわかった 当時、

情がたいへん悪く、 なかなか買えなかったですし、当時は戦時中で食料事 八戸までだから、 うのがまた遠くて大変なわけね。田舎から三戸に出て 校とも無欠席だったけどね。**れて行ってもらって、結局、 でダメだったね。それでも約2年間、 くものだから、 ただ、 行けなかった。「学校」 32㎞、歩くんです。 の日は肩が痛くて。 下宿先にあげるお米を背負って行 そのあと、中学校に通 尋常小学校、 汽車のキップも 毎日、 って言っただけ 1週間は痛か 高等小学 祖母に連

尋常小学校、 高等小学校:1941年までの学校制度では、 て育 そ n か 師範学校に行 尋常 n

奥地

そうや

0

0 て、

5

- 3 -

高等小学校(現在の中学校にあたる)は義務教

育ではなかった。 小学校が義務教育で、 奥地

なるほど。

たわけですか?

坂 本 るところで、 ちょうど戦後になって、師範学校が切り替わ 弘前大学になりました。

奥地 わけですね。 それで弘前大学を出られて、地元に赴任された

坂 本 をもらってたんでね。村から、 先生をはじめたのは。大学時代に地元の村から奨学金 10年間務めました。 の中学校に来てほしいと言われていたんです。それで、 昭和28年(1953年)からですね、学校の 1年でもいいから地元

奥地 10年いたわけですか

坂本 1年でいいってところを10年も (笑)。

弘前大学教育学部になった。 * 2 師範学校: 戦前の教員養成学校。 青森師範学校は1949年に

Aくんとの出会い

奥地 生徒がいた、と書かれていますね。Aくんが、ご自 ごろ、小学4年生から不登校をしていたAくんという 分の出会われた不登校第1号だ、と。 先生はホームページで、昭和28年 (1953年)

坂本 学校に来れない生徒がいるからというので、 いに行ったんですよ。 会

遠くに住んでたんですか? 奥地 自転車で行かれたということですが、その子は

地の奥地だったからね(笑)。 遠かった。5~6㎞くらい かな。 温泉が出 「る奥

奥地 家まで行って、 る。だから会いに行こうとなったわけですね。それで 赴任して教室に行ったら、来ていない生徒が 会えたんですか?

立てて、それで割るんです。昔は家事労働を子どもが どね、鉞で、切り出してきた木を30四くらいに切って、 手伝うものだから、 薪割りをしていましたね。鉞っていうんだけ すごく上手でね。

奥地 それで彼に学校に来るように言いましたか?

奥地 ちゃんと取ってあるんですね。じゃあ、そのこ

もこっちもできなかったですからね。そのときに使っ を作って味噌をつけて焼いてあげていました。他に何

ていた鉞は、いまも八戸の私の家にあります。

坂本 そうやって、喜んで薪割りをやってくれていた

んですが、でも何もあげられないから、妻がおにぎり

れて、 をずっと続けてくれました。 生徒たちが来る前に早く学校に来て、薪割りをしてく てほしい」って頼んだんです。そうしたら、はじめは たんですよ。そして「上手だからぜひ学校の薪もやっ て的を外してね。「君は上手だね」ってAくんをほめ せてほしいって頼みました。それで、わざと下手にやっ それから何度も何度も家に行き、自分にも薪割りをさ ほかの生徒が来る前に家に帰るわけです。それ すぐ学校に来るようにとは、言いませんでした。

> 坂 本 した。今では、道も舗装されてますから、八戸の自宅 を使っていたと思うんですけど。 ろは薪ストーブだったんですね? 青森のなかでも僻地でしたからね。 東京ではもう石炭 ずっと薪で

から車で40分で行けますけれども、そのころは何も交

奥地 その後、 Aくんは教室には入れましたか?

坂本 なったね。だんだん明るくなってね。こちらも、 ようになってね、だんだんと教室にも入れるように 毎日薪割りをしながら、だんだん学校にも来る とて

通機関がなかったですからね。

- 5 -

もうれしかったです。

になったということですね。それで、 を3年間で卒業されたんですよね。 やはり薪割りのことがきっかけで来られるよう Aくんは中学校

校に来ても、学校のトイレには行けないらしくて、私 イレは大勢が使うからイヤだったようで。 たちの住居まで来てトイレをしてましたね。 そうですね。ただ、私の記憶が正しければ、 学校のト

奥地 今でもそういう子はいますね

坂 本 持ってきて、恥ずかしくて隠れて食べたりしている子 Ŕ かなりいました。 それと米が少なかったので、粟や稗のお弁当を

奥地 わけですね。 それでおにぎりを食べさせてあげたりしていた

坂本 それくらいしか、してあげられなかったのでね。

奥地 たわけですね。 そうですか。 そのころ、 坂本先生は結婚され 7

坂本 3人もそこで生まれています。 はい。 赴任して1年経ってからですが、

奥地 それは苦労されたんじゃないですか

坂 本 ヤギも飼いました。 からないです(笑)。そうそう、 んでしたからね。今となっては、 本当に何もなくて、ドジョウくらいしかいませ 子どもたちのために 何を食べたのかもわ

奥地 しょうか? ありましたけど、 Aくんの親は学校に行かせようとしたと書いて 親の方とは相談したりしてたんで

坂 本 ね。どうにもならないなと。 親はもう行けないからと、 あきらめていました

奥地 てどうだったんですか? 村の人たちの学校に行かない子に対する反応っ

坂 本 ですからね。 その当時は学校に行けない子なんていなかった その子くらいだったんじゃないでしょう

ども、 奥地 どんな方針の方だったんでしょう。 それから校長先生がおられたと思うんですけ

奥地

教員が提供したんですか?

費用は出たんです

うので、逆さに読んで「タンキ先生、 れない子どもたち、 しい家庭の多い村でしたので、おかずを何も持ってこ キ校長がいなくなってから、女の校長になったんです 子どもたちから呼ばれていましたね(笑)。そのタン が、その校長の提案で、学校給食を始めたんです。貧 厳しい人でしたね。名前が金田 肉を食べたことがない、 タンキ先生」と (キンタ)とい 魚を食べ

> を作るんです。それを子どもたちに食べさせたら、と ても喜びました。 転車で行って、 金曜日だけは、田舎から五戸町まで、 みそ汁給食。でも、 ただいてね、月曜から土曜まで給食をやったんですよ。 多い村なので、野菜とか味噌とかは近所の農家からい たことがない子どもたちがいました。そこで、農家の 豚の細切れを買ってきて、それで豚汁 いつもは野菜だけの味噌汁でも、 20キロの道を自

坂本悦雄さん「自分史」より当時の写真

奥地

先生に信頼があったんですね。

坂本

信じられないですよ

か?

坂本 した。 りをしたり栗拾いもしてね。婦人会の人たちが手伝っ てくれたんですね。 春の山菜採りや田植え、 肉の代金は、子どもたちといっしょに工面しま 秋はキノコ狩りや稲刈

奥地 Aくんも食べましたか?

たよ。 だち関係がうまくいってたから、 坂 本 喜んでました。学校に来れなくても部落では友 みんなと食べてまし

かった。 奥地 友だちはいたわけですね。 ただ学校には行けな

坂 本 麦を作ったり、娯楽が何もないから映画観賞会をやっ かにもいろいろやりました。食べるものがないから蕎 (当時「幻灯会」と言っていました)。 「家なき子」 学校は特殊だったんでしょうね。田舎では、ほ

> とか「マッチ売りの少女」とかね。その弁士をやった たりしてね (笑)。 りもしましたよ。でも、途中でフィルムが切れちゃっ

奥地 かったんですかっ れたんですね。坂本先生は「学校に来い」とは言わな 験があったので、体験的にわかって、共感的に対応さ 生ご自身も、 学校に来れないAくんと出会ったとき、坂本先 付き添いなしでは学校に行けなかった体

坂 本 業するとき、校長先生に特別お願いして 顔は今でも忘れることはありません。 を彼のために出してもらいました。そのときの彼の笑 来れるようにしてあげた気がするね。彼が中学校を卒 「来い」とは言わなかったね。 まったく自然に

奥地 あとはどうされたんですか? それはよかったですね。 Aくんは中学校を出

坂 本 左官屋さんに入りましたよ、 見習いとして。

町会議員になられたとも書いてありますけれども、 技大会で二度優勝したと書いてありますね。それから ういうようすだったんでしょう? 坂本先生がお書きになったもので、全国技能競

坂 本

何時に帰ってくる?」なんて聞いて「じゃあ待ってる」

妻だけしかいないときでも家に来て、「先生、

話が通じなくても一生懸命きょろきょろしてるんです たね。ちょっと変わってるなと思ったのは、 りしても、その中に入ろうとするんですね。ぜんぜん の教師をやってる時分、同僚の教師が飲みに来てた 卒業してからも、ちょこちょこ遊びにきてまし 私が高校

ちょっと考えにくいですけどね 不登校だった子が先生の輪の中に入るっ (笑)。 て、

> 奥地 その後、社長にもなられたとありますが、どう という感じで帰りを待ってるんですよ。 いう会社だったんですか

坂 本 ました。どこからそんな力が湧いてきたのか。 家の風呂の内装などを手がける会社を立ち上げ

奥地 ですが、その後の動きはそうではなかったわけですね。 不登校というと集団が苦手なのかなと思ったん

坂 本 でしょうね。 やはり得意なところを伸ばして自信がついたん

勤務時代

奥地 とですが、その後はどうされたんですか? 坂本先生は村の中学校に10年いらしたというこ

坂本 八戸北高に新設から18年いましたね。 が電話くれて、早く街に出てこいって。それから六ヶ 所高校の準備委員として青森市に行って、3年間、教 頭として赴任しました。その後、県の教育庁に赴任し は社会教育課のタバコでしょうか (笑)。今みたいに は社会教育課のタバコでしょうか (笑)。今みたいに は社会教育課のタバコでしょうか (実)。 でみたいに が家の洋服ダンスにまでついてしまいました。北高の校長

奥地 体調を崩されたんですね。

で全国大会があったときに表彰もされました。から中央高校の校長になっちゃって、山形県の天童ので、生徒は5時にならないと来ないんです。それでので、生徒は5時にならないと来ないんです。それでんですが、それが有名になったんです。夜間高校だったんですが、それが有名になったんです。夜間高校だったんですが、それがら八戸西高校に行って、それ

奥地 いまでは夜間高校とか定時制高校もありますけ

ね。大変でしたね、本当に。 の関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうの関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうの関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうのと~3年生まで人工肛門だったんですよね。それで

奥地 それでも坂本先生のいた高校に入られて、卒業

坂本しましたね。

奥地 高校では落ち着いたんですか?

したね。でも、いまはちゃんとお勤めしてますよ。みまうは、私の妻がいろいろ面倒を見ていました。そのほうは、私の妻がいろいろ面倒を見ていました。その子は、はじめて会ったときは1年半も部屋から出てなかったんですよね。だからはじめに会いにいくときはかったんですよね。だからはじめに会いにいくときはかったんですよね。だからはりを見いている。

ど、ずいぶん早くからやられていたんですね。

を殴ったりして。あの子はとても大変でした。暴力がひどかった子ですね。馬乗りになってお母さん家庭内

奥地 その子は中学生ですか?

坂本 そう。それで私の勤めてた高校に入れて、卒業

れたんですね。 奥地 高校に勤めながらも、不登校児と関わっておら

「助けてくれ」って連絡があって。 そうなりますね。半殺しになったお母さんから

奥地 その子はよっぽど苦しかったんでしょうね。

坂本 その子は生まれたときに肛門がなくて、小学

んなそうやってよくなってるんですよね。

ね。 奥地 そんな子たちは坂本先生のこと忘れないですよ

心の窓」の活動

か? 奥地 「心の窓」を始められたのはいつごろなんです

坂本 本格的に始めたのは退職してからかな。中央高校を退職して、青年の船に講師として乗船しました。 校を退職して、青年の船に講師として乗船しました。 がたんですよ。そこが登校拒否の子を受けいれるとこ のたんですよ。そこが登校拒否の子を受けいれるとこ

奥地 何年ごろのことですかっ

坂本 退職したのが平成元年(1989年)ですね。

方もいたりしてね。

奥地

それだけ居心地がよかったんでしょうね。

所というか。

坂本

毎日ですよ。

毎日生徒がやってきて、

30人か、もっと来たろう

奥地

奥地

「心の窓」は週に何日開いてたんですか

ないと玄関に立って待ってるんですよ。

自宅です。

みんな自宅に来て、私も妻も誰も

13

畳の2間がぎっしりでした。

ね。

すね。 奥地 はじめは総合教育センターでの活動だったんで

もが。 坂 本 親もですけど。 ところが家まで押しかけてくるんですよ、 子ど

か? 奥地 総合教育センターではどんな感じだったんです

坂 本 みに悩みましたね。 ふうにしようって言ってもなかなかできないので、 やはり自分一人のものじゃないので、 こういう 悩

奥地 他の方と考えがちがったりするわけですね

坂 本 ŋ して、 それで子どもたちもセンターに行かなくなった 家に来るようになったんですよ。

奥地 その流れはなんとなくわかります(笑)。

> うちは犬連れてきてもネコ連れてきてもよかったの 坂本 センターでは「買い物はしちゃだめ」、「靴はそ 行かない子だったんですよ。 で。(左の写真を示して)この子たち、 いからイヤだって。「ペットも連れてくるな」 ろえて脱ぎなさい」、 「時間は守りなさい」ってうるさ みんな学校に って。



坂本悦雄さん「自分史」より。ご自宅にて。 「心の窓の仲間たち一同」とある(1994年)。

奥地 何年までやってたんですか?

奥地

分の持っている力を発揮するんですよね。

もともとは

みんな自

本当に受けいれられて、安心すると、

優しい子たちですものね。これはご自宅?

坂本 別れたくないって。公民館で集まったり、山小屋に行っ だから、親の会も解散したらって提案したんですが、 ないんです (笑)。 道もあって、 ルの山にあって、「アインマール」と名づけて、 たり、おしゃべりしたり。 と集まるんですよ。もう親たちがスクラム組んで離れ 何年までというか、 18張のテントを設営できます。 もう子どもたちも立派になったん 八戸に帰ると今もまだバーツ 山小屋は、5・5ヘクター

されてきたことになるんでしょうかっ からね。安心できる仲間ってことですよね。 いお仕事を残されましたね。ご自宅で何年くらい活動 世間がみんなわかってくれるわけじゃないです すばらし

25年以上はやってるんじゃないでしょうか。

坂 本

奥地

奥さんといっしょに、ご夫婦でやってこられた

坂 本 板がまだありますよ。 お母さんたちにとってもね。そのころ作った看 それを見て盛岡や京都から来た

- 13 -

- 12 -

れたんですか?感じですね。集まってくる子どもたちで何か活動はさ

けて、キノコをとって、鍋に入れて料理したり。ンプしたり、いろいろしましたね。椎茸などの菌をつン。山に連れてって、小鳥の巣箱を作ったり、キャ

奥地 費用はいただいてたんですか?

屋を暗くして、みんなで鍋の具をつつくんですよ。出しです。一番おもしろかった企画は闇汁会だね。部 どこからもいただいてないですよ。すべて持ち

奥地 あ、闇鍋ですね。東京シューレでもたまにやっ

意してくださって、すごい豪華な闇汁になりました。ですよ。弁当屋さんのご両親が大きいエビを2箱も用坂本 子どもたちが好きなものを持ってきて入れるん

奥地 そうやって、いろんなつながりができてきます

うな豪華な弁当を作ってくれるんですよ。世話になりましたって、1000 円とは思えないよ坂本 私がその弁当屋にたまに行くとですね、娘がお

られてからは、ずっと順調だったんですか?をはじめる前に倒れられたというお話でしたが、始めをはいめる前に倒れられたというお話でしたが、始め

らい倒れてます。 坂本 またやって、またやり直しって感じで、3回く

その間も子どもたちは来られてたんですか。

奥地

坂本 そうなんです。

奥地 小山(栃木県)にはいつ来られたんですか?

と。娘の夫が医者ですし、娘がデイサービスをやってと。娘の夫が医者ですし、娘がデイサービスをやって

坂 本

それで2人で生活するのが難しくなって、(小山の)

去年です。それまでに妻が2~3回倒れまして。



坂本悦雄さん(左)と敦子さん(右) 長年、ご夫妻で不登校の子どもや親に関わってこられた。

ますから。そこで、ここに世話になっているんです。

かでお疲れになっていたということでしょうね? 奥地 奥さんも、生徒やお母さんたちとの関わりのな

でしたね。でしたね。そういうのは妻が相手になってあげて。大変すよね。そういうのは妻が相手になってあげて。大変旦那さんと奥さんの歩調が合わないってことがありま話もありますし、子どもを受けいれようと思っても、

すね。相談も無料だったんですよね。 とですよね。「心の窓」って相談室だと思ってましたが、とですよね。「心の窓」って相談室だと思ってましたが、とのよりですね。そんなこと、なかなかできないこ 奥地 本当にご夫婦で力合わせて不登校と関わってこ

坂本 もちろんです。

奥地 本当に完全にボランティアだったんですね。

かったりもするんじゃないですか? 夜になっても。日のように子どもが来るわけですよね。帰ってくれな

に食べるようにしてください」って言ったりしてましたね。 タ飯の支度をはじめると「今日は何食べるの?」 なんて聞いてきたりするわけです。そこで食べさせるのは 簡単なんですけれども、頼られることになったら良くないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょ 夜になっても帰りたくない子はいました。妻が

感じなかったんですか? 子どもたちが来るなかで、ご自身たちの休息の必要は の地 そういう方針を持っておられたんですね。毎日、

奥地 そういうこと、ありますよね。

坂本 そろばんなんて弾いてられないですよ。

奥地 そういうとき腹立ったりしないんですか?

坂本 しゃあないでしょ (笑)

は、学校に行っている子もいたんですよね? 奥地 心が広いんですね。来るお子さんたちのなかに

て、いまでは一流企業に勤めてますよ。 人が、1人は東大に入って、1人は電気通信大学に入ったね。そのなかで兄妹2人、中学から行けなかった2 坂本 はい、行ったり行かなかったりって子はいまし

に学校に行かないのがよかったんだと思います。 奥地 すごいですね。つらいとき、苦しいときに無理

そのおじいちゃんとかおばあちゃんがわかってくれな坂本 お母さんがわかって、お父さんがわかっても、

いって場合があるんですよ。

なかなか飲み込んでいただけないですよね。
奥地 とくに田舎はそうでしょうね。お年寄りはね、

てないからって思うじゃないですか。 坂本 この子はどうなるだろう。親はいつまでも生き

いま思うこと

吹きですか?
吹き、不登校について坂本先生が思われることはどういま、不登校について坂本先生が思われることはどう

彼らはぜんぶ立ち直る。みんな良くなるんだよ。でもしい、ということ。ただ、早い遅いはある。けれど、気づけるな、励ますな、ただ温かくじっと見守ってほることは、叱ってはいけない、責めてはいけない、元やらせるんじゃなくて。何万人も相談したなかで言え**坂本** とにかく待つってことですね。あせって何かを

親は待てないんだよね(笑)。

はどう感じられますか? 日本全体の話ですが。計開始から少しずつ減っていたのが、1975年からは急激に増えるわけなんですけれど、それについてのは急激に増えるわけなんですけれど、それについて

うか。
うか。
うか。

奥地 これからやってみたいことってありますか?

坂本 何でもやってみたいですよ。生きているかぎり

奥地 八戸には帰られるんですか?

坂本 ここにいつまでもいると娘には迷惑かかります

してしまうものだから娘は心配します 考えてはいるんですけ れどね。 帰るたびに無理を

るんじゃないですか んでしょう は りみなさん、 それか 戸 に帰られ 方も伝え聞い れると会い て来られ

坂 本 医者の先生に そうなんですよね。 んですけ 「もうちょっとなんとかならない 私は耳が悪い 先生は 「歳だからダ 0 で メで す で

すと 5 すか」って聞く (笑)。

奥地

不登校の子が増えても、

関心を持たな

13

教員

いるわけじゃ

ない

ですか。

坂本先生はどうしてそう

41 は

う子たちを放っておけなか

ったんですかね

奥地 耳以外はお元気なんですね

坂本 内臓は健康なんですよね (笑)。

奥地

でも、

帰られると無理しちゃうんでしょう

坂本 2人が風邪をひくと差し入れがたくさん来ますし、 親の会の 人たちは私たちを頼ってますから ね

> 奥地 本当に慕わ れてるんですね

とです。

野菜のお惣菜がどんどん来るんですよ。

ありがたいこ

- 18 -

時的に帰宅したときでも、野菜がいるでしょと言って、

坂本 ょ 0 ち ゆ ž が来ますね。 今日 もこのあと、

京都で働いている教え子がきます。

長い短 坂本 わるのは楽しみでしたよ。 建物に対する圧迫感とか 自分も学校に1人で行けなかっ 14 はあっても み んな良くなるんだから。 でも、 たからでしょう 不登校の子と関

ね。

ござい ました。 11 ろいろ お話を聞かせてい ただい てありがとう

奥地

本プロジェクトは寄付で運営し、すべ ての記事を無償で公開しています。 ご寄付のほど、よろしくお願いします。

郵便振替口座: 00100-6-22077

加入者名:全国不登校新聞社

一口 1000 円/3000 円/5000 円

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#02 坂本悦雄さん インタビュー日時:2016年7月2日

場所:栃木県小山市

聞き手・まとめ: 奥地圭子

写真撮影・テープ起こし:稲葉祐一朗(小山フリースクールおるたの家)

語が使われてきまし

refusal)」「学校嫌い

」「不登校」など、さまざまな用

人によって、

その言

に、「学校恐怖症(school phobia)」「登校拒否(school

「不登校」を意味する用語は、

長い

年月の

◇本プロジェクトにおける用語の取り扱いについて

校50年証言プロジェ 葉の使い方や、

トでは、

統一した用語に整理

するのではなく

手の文脈に即して使うことと

記事公開日:2016年8月26日

編集,発行:全国不登校新聞社

© 2016 Zenkoku Futoko Shimbun sha

東京編集局(関東チーム事務局) 〒 114-0021 東京都北区岸町 1-9-19 TEL:03-5963-5526 / FAX:03-5963-5527 E-mail:tokyo@futoko.org

大阪通信局 (関西チーム事務局) TEL:050-5883-0462 E-mail:osaka_c@futoko.org